

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道42号 <small>しみず</small> 冷水拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局																																				
起終点	自：和歌山県海南市冷水 至：和歌山県海南市藤白	延長	1.1km																																						
事業概要	<p>一般国道42号は、静岡県浜松市から和歌山県和歌山市を結ぶ延長約538kmの道路である。 冷水拡幅は、和歌山県海南市冷水～海南市藤白間の一般国道42号の拡幅事業として、交通混雑の緩和、交通安全の確保等を目的に計画された道路である。</p>																																								
H19年度事業化	H19年度都市計画決定	用地着手	-	工事着手	-																																				
全体事業費	49億円	事業進捗率	約14%	供用済延長	-																																				
計画交通量	20,100台/日																																								
費用対効果 分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">B/C</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">:</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">総費用</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">:</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">総便益</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">:</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">基準年</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">1.4</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">33/43億円</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">62/62億円</td> <td style="text-align: center;">平成23年</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td style="text-align: center;">1.9</td> <td style="text-align: center;">事業費:</td> <td style="text-align: center;">30/40億円</td> <td style="text-align: center;">(走行時間短縮便益):</td> <td style="text-align: center;">58/58億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">維持管理費:</td> <td style="text-align: center;">2.7/2.7億円</td> <td style="text-align: center;">(走行経費減少便益):</td> <td style="text-align: center;">1.3/1.3億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">(交通事故減少便益):</td> <td style="text-align: center;">2.6/2.6億円</td> <td></td> </tr> </table>	B/C	:	総費用	:	総便益	:	基準年	(事業全体)	1.4	(残事業)/(事業全体)	33/43億円	(残事業)/(事業全体)	62/62億円	平成23年	(残事業)	1.9	事業費:	30/40億円	(走行時間短縮便益):	58/58億円				維持管理費:	2.7/2.7億円	(走行経費減少便益):	1.3/1.3億円						(交通事故減少便益):	2.6/2.6億円						
B/C	:	総費用	:	総便益	:	基準年																																			
(事業全体)	1.4	(残事業)/(事業全体)	33/43億円	(残事業)/(事業全体)	62/62億円	平成23年																																			
(残事業)	1.9	事業費:	30/40億円	(走行時間短縮便益):	58/58億円																																				
		維持管理費:	2.7/2.7億円	(走行経費減少便益):	1.3/1.3億円																																				
				(交通事故減少便益):	2.6/2.6億円																																				
感度分析の結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">(事業全体) 交通量 : B/C=1.3~1.6(交通量 ±10%)</td> <td style="width: 50%;">(残事業) 交通量 : B/C=1.7~2.1(交通量 ±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業費 : B/C=1.3~1.6(事業費 ±10%)</td> <td>事業費 : B/C=1.7~2.1(事業費 ±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業期間 : B/C=1.4~1.5(事業期間±20%)</td> <td>事業期間 : B/C=1.8~1.9(事業期間±20%)</td> </tr> </table>					(事業全体) 交通量 : B/C=1.3~1.6(交通量 ±10%)	(残事業) 交通量 : B/C=1.7~2.1(交通量 ±10%)	事業費 : B/C=1.3~1.6(事業費 ±10%)	事業費 : B/C=1.7~2.1(事業費 ±10%)	事業期間 : B/C=1.4~1.5(事業期間±20%)	事業期間 : B/C=1.8~1.9(事業期間±20%)																														
(事業全体) 交通量 : B/C=1.3~1.6(交通量 ±10%)	(残事業) 交通量 : B/C=1.7~2.1(交通量 ±10%)																																								
事業費 : B/C=1.3~1.6(事業費 ±10%)	事業費 : B/C=1.7~2.1(事業費 ±10%)																																								
事業期間 : B/C=1.4~1.5(事業期間±20%)	事業期間 : B/C=1.8~1.9(事業期間±20%)																																								
事業の効果等	<p>①交通混雑の緩和・所要時間の短縮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般国道42号は交通容量を超過しており、交通渋滞が発生。整備により渋滞解消効果が見込まれ、朝夕ピーク時など混雑時間帯での所要時間短縮が期待される。 <p>②交通安全の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般国道42号の拡幅で交通混雑が緩和し、交通事故発生件数の減少が期待される。 <p>③関西国際空港へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有田市～関西国際空港への所要時間が短縮。(62分→53分) <p>④和歌山下津港へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海南市～和歌山下津港(有田港区)への所要時間が短縮。(20分→15分) <p>⑤日常活動圏中心都市へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有田市～和歌山市への所要時間が短縮。(50分→39分) <p>⑥高度医療施設へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有田市～和歌山県立医科大学付属病院への所要時間が短縮。(25分→19分) 																																								
関係する地方公共団体等の意見	<p>地域から頂いた主な意見等：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道42号・有田海南間整備促進協議会(H9.5設立 有田市長、海南市長、湯浅町長等)より、早期整備の要望を受けている。 <p>和歌山県知事の意見：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道42号冷水拡幅は、国道42号有田海南道路と合わせ、国道42号の渋滞解消や交通事故の減少を図るとともに、有田市及び海南市の生活圏の連携強化により地域の活性化に資する道路であることから、早期の全線供用が必要であり、対応方針(原案)のとおり、事業継続が妥当と考えます。 																																								
事業評価監視委員会の意見	<p>審議の結果、「一般国道42号冷水拡幅」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針(原案)のとおり「事業継続」でよいと判断される。</p>																																								
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>一般国道42号は、依然として交通量が交通容量と超過しており、朝夕ピーク時に冷水交差点を先頭に交通渋滞が発生している。</p>																																								
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>現在、調査設計推進中。</p>																																								

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等
引き続き事業を推進し、早期供用を目指す。

施設の構造や工法の変更等
事業の実施にあたり、市道の取付位置の見直し及び新工法・新技術の活用等、コスト縮減に努める。

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由
以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

再評価結果(平成24年度事業継続箇所)

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道42号 <small>しみず</small> 冷水拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局
起終点	自：和歌山県海南市冷水 至：和歌山県海南市藤白	延長	1.1km		

事業概要図

【位置図】



【概要図】

